

社会福祉法人 敬天会の取組概要

<企業情報>

所在地 始良市
業 種 障害者支援施設
代表者氏名 理事長 大友 良治
労働者数 108名（うち女性54名）



行動計画

- 計画期間 平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日（2期目）
- 内容
 - ☆ 目標1 毎年、法人の両立支援制度の利用状況、両立支援のための取り組みの成果を把握し、改善点がないか検討する。
 - ☆ 目標2 男性の育児参加を支援する取り組み実施
 - ☆ 目標3 年次有給休暇の取得日数を、1人当たり平均年間10日以上とする

行動計画取組状況

- ☆ 1 - 1 両立支援制度利用状況として、以下のように各制度の利用が確認でき、十分な成果が見られた。
 - ・ 深夜業制限・育児短時間勤務・所定外労働制限利用者 2名
 - ・ 介護休業取得者 2名
- ☆ 1 - 2 毎年1回、経営会議にて一般事業主行動計画について利用状況や成果を把握、課題や改善策を検討した。託児所の設置希望があがったため、病児保育・保育園を運営する近隣法人と連携し、法人職員が連携先法人の保育サービスを利用できるようになった。
- ☆ 2 職員会議にて行動計画を周知し、男性の育児参加支援を促進しところ、男性初の育児休業取得者が誕生した。
- ☆ 3 年次有給休暇の時間単位取得や前倒し付与制度の周知や、取得日数の少ない職員への声掛けの結果、平均取得日数が年間13日、取得率72.7%となった。

医療法人クオラの取組概要

<企業情報>

所在地 薩摩郡さつま町
業種 医療、福祉
代表者氏名 理事長 松下 兼一
労働者数 641名（うち女性403名）



- 計画期間 平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日（4期目）
- 内容
 - ☆ 目標1 年次有給休暇の計画的付与制度の継続
 - ☆ 目標2 育児休業の取得状況を次の水準以上にする
 - ・ 男性社員 取得率を7%以上にする
 - ・ 女性社員 取得率を80%以上とする
 - ☆ 目標3 企業独自の育児を目的とした休暇制度の新設

行動計画取組状況

- ☆ 1 年次有給休暇の計画的付与制度について、入職時の説明のほか、毎月1日ずつ計画有休として計画付的与を行った結果、平成30年度の平均取得率は73.4%となった。
- ☆ 2 育児に関する男女職員のニーズを把握した結果、職員の要望への対応として妊娠・出産 から育児休業の制度や手当金・給付金の申請等についての説明資料を作成して配付した。また、妻が出産した男性職員に対しては厚生労働省作成の「イクメンのススメ」を利用し育児休業の取得を勧めた。取組の結果、出産した女性職員は全員、妻が出産した男性職員22人のうち6人（27.3%）が育児休業を取得した。
- ☆ 3 育児に関する男女職員のニーズを把握した結果、男性も育児休業を取れることが知られていなかったため、男性も取得しやすい有給の「配偶者出産休暇」を新設した。

医療法人起生会の取組概要

<企業情報>

所在地 鹿児島市
業 種 医療、福祉
代表者氏名 理事長 花田 博実
労働者数 144名（うち女性 121名）



○ 計画期間 平成28年10月1日～令和2年3月31日（3期目）

○ 内容

- ☆ 目標1 令和2年3月までに、職員の所定外労働を削減するため、ノー残業デーを設定し実施する。
- ☆ 目標2 平成31年4月までに、職員の年次有給休暇の平均取得率を5%増加させる。
- ☆ 目標3 令和2年3月31日までに、男性職員のうち育児休業を取得した者の割合を7%以上とする。

行動計画取組状況

- ☆1 各部署でノー残業デーを設け実施。報告書を安全衛生委員会に提出し目標達成状況を発表した。職員の士気が高まり、業務の質の向上につながった。
- ☆2 安全衛生委員会でたびたび年次有給休暇の取得状況を報告し取得促進を図ったことにより、平成29年度の平均取得率と比較して平成30年度は取得率が7.47%向上した。有給休暇を取得しやすい環境により、職員のリフレッシュ効果が高まった。
- ☆3 安全衛生委員会で男性の育児休業の取得について啓発した。期間中、妻が出産した男性職員は1名、その1名が育児休業を取得し取得割合は100%となった。男性職員が育児休業を取得するのは初めてであり、全職員の意識の変化が見られた。